



本日は、本校、小平第六小学校の創立50周年記念式典に、小平市長 小林正則（まさのり）様、小平市議会議長 永田政弘（まさひろ）様、小平市教育委員会 教育委員長 伊藤文代様、教育長 阪本伸一様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、このように盛大に催しできますことに、心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、本校、第六小学校は昭和33年に第一小学校の分校として出発し、昭和35年に独立、翌年、現在地に移転し、50年という歴史を積み重ねて参りました。この間に、第六小学校を卒業されました卒業生は、6576名の方々であり、現在、まさに日本を支えるお立場でご活躍されています。

六小は、この50年、地域と共にしっかりと歩んで参りました。

現在、小平市のコミュニティスクールとして4年目を迎え、地域の皆様と絆を深め、学校創りを進めております。しかし、地域の皆さまとは、その前々から共に歩んで来た学校です。開校以来、50年という時を積み重ねる中で、地域の皆様方が、PTAの皆様方が、歴代の校長先生方をはじめとする教職員の方々が、まさに一丸となって六小の教育を進めて来られました。その熱き思いと情熱、ご努力には頭が下がる思いであります。

私はこの4月にこの六小に着任したばかりです。たった半年ではありますが、本校六小が、地域や保護者の方々と熱き思いを持ちながら、共に歩む姿を目の当たりにし、50年という歴史の中には皆様方の思いが大きく詰まっており、その重さを感じ入り、それを思うと胸が熱くなるものがあります。校内の一つ一つの掲示や日々の活動の中にもそれらが凝集されております。

昨年、本校に教育支援として入って頂いた学校支援ボランティア等の方々は、1年間で延べ5000人を越えました。今年も既に延べ2600人をこえる皆様にご来校頂き、学校を支えて頂いております。本当に、地域の皆様の思いに支えられた学校であることを強く感じるところです。

先週の金曜日に、全校児童による50周年をお祝いする児童集会が行われました。「みんなで祝おう50才」この言葉の下に、代表委員会の子供たちがバースディケーキを作りました。そして、50年分の卒業生の思いの分も込めて、くす玉を割り、お祝いをしました。

本会場の後ろに飾っております。本日は儀式的行事の式典ではありますが、子供たちの思いが詰まっておりますケーキとくす玉を会場の後ろに飾らせてもらいました。

また、真後ろにある書写は、本年10月に実施した50周年記念運動会において、当日、放課後子供教室の書道クラブの子供たちが、校庭で書き上げたものです。書道クラブの子供たちは、今年の夏休み、あの猛暑の中、地域の方々にずっとご指導頂き、何度も何度も練習をしました。後ろの作品は、子供たちとそれを支えて頂いた地域の皆様の努力の結実したものであります。私は運動会当日、その活動を見、そして、出来上がった作品を見、感極まるものがありました。

一つ一つの作品を見ていると、子供たちの思いと共に、それを支えて下さっている地域の皆様、保護者の皆様の思いが心に深く伝わって参るところです。

さて、児童のみなさん。

今日は、おめでとうございます。みなさんは50年目に在校することの出来た幸運な在校生です。本日参加していない1年生から4年生の代表としてだけではなく、今まで50年間六小で学んできた、全ての子供たちの代表として参加しているわけです。

先週の児童集会では、運動会で活躍した応援団長の3人が、「フレーフレー六小」「おめでとう六小」「よろしく六小」のコールをかけ、それにあわせて全校児童のみなさんが大きな声で六小応援コールをしましたね。みなさんの六小を思う気持ちが、私の心の中に、しっかりと響いてきました。

4階のアニバーサリーロード（もの知りコーナー）をみたことと思います。これも地域の皆様が多く時間を費やし、心を込めて、創って下さったものです。

そこには六小の50年間の歴史が刻まれています。今まで六小で勉強してきた先輩の方々の笑顔が写真の中にたくさんあります。その笑顔を見ていると、今まで六小に通ったみなさんも、六小で学ぶことに「誇り」を持ち、「喜び」を持っていたことがしっかりと伝わってきますね。

みなさんも同様に、この「六小で学ぶ誇り」をもち、これからも大切にして、人生を切り拓いていてもらいたいと思います。

10年後、20年後、そして50年後には、みなさんが『小平がふるさと』と胸を張って言っている立派な大人になることを、心から願っています。

さて、ご参会の皆様、これからの輝かしい六小の未来に向けてです。

この50周年はこれからの飛躍につながる50周年であります。

先週の児童集会では、校庭で経営協議会の石塚会長の合図で、子供たちの夢と希望を乗せた風船を一斉に飛ばしました。色とりどりの風船は、子供たちの100周年に向けた夢と思いを乗せて、大空にむかって飛んでいきました。

「この六小で学んでよかった」「この地域に暮らしてよかった」と小平市に住む誇りをこれからも持ち続けるであろう子供たちの輝く未来に、大きく期待するところであります。

また、6年生は、10年後の六小の6年生へ、1年生は10年後の1年生へと、各学年、それぞれタイムレターを書きました。そして4階のアニバーサリーロードにある、小平名物の赤い丸ポストに投函します。そして10年後に開けます。

中に入れる6年生のタイムレターの一節をいくつか紹介します

「10年後の6年生へ」

「こんにちは。今わたしはきっと21才になっています。この手紙を書いているときは、あなたと同じ6年生です。今私たちの6小はとてもきれいです。10年後の六小もきれいですか？」

「屋上からはスカイツリーが見えます。今はまだ完成していませんが、みなさんの頃はもうすっかりできあがってますね」

「みなさんは今60周年の準備で忙しいですね。リーダーとして1年生から6年生をひっぱっていただく下さい。」 など

10年後の6年生は、今はまだ2さいです。10年後の1年生は、まだ生まれていません。子供たちは輝く未来へ向かって、心からのメッセージを送りました。

教育とは、未来を創る仕事であります。今という時をしっかりと進めること、それが素晴らしい未来を創るということ、この50周年記念行事を通して、大きく感じているところです。

私は、50周年の記念事業の活動を通して、多くの方々と接する機会があり、たくさんの貴重な教訓を得ることができました。私の狭い人生観を大きく変えるほど強烈な教訓もありました。特に、地域の皆様、PTAの皆様にはたくさんのことを教えて頂きました。また、周年行事に向けて全力で取り組む現教職員の姿からも多くのことを学びました。これらを全て自分の糧としていきたいと思っております。



時は移り、人は変わっても本校のすばらしい伝統は、地域を始めとするたくさんの方々の熱意に支えられながら、今後も更に創造、発展し、充実を遂げていくことであろうと確信します。

今後とも、第六小学校のために、尚一層のご指導、ご鞭撻、ご協力をお願いし、また、本日のご参会頂きましたことに心からの感謝を込め、私の式辞といたします。

（平成22年10月23日）